

Photo Gallery



岩城充祐（3年） 仲田惟希（3年） 鈴木爽太（3年） 後列左から
 吉田優我（3年） 野田大空（2年） 堀部隼暉（1年） 中列左から
 菅沼翔也（3年） 岩崎陽生（2年） 溝田康貴（1年） 前列左から

一丸となって「入賞」を目指す。

11月11日、袋井市のエコパスタジアムを発着点とする周回コースで静岡県中学駅伝競走大会が行われました。

同駅伝競走大会には地区予選の上位24校が出場しました。6区間18・4キロメートルの男子の部に函南中陸上競技部が出場し、1時間0分55秒で初優勝しました。

函南中陸上競技部は、3区岩崎さんの7人抜きで3位に浮上し、2位でたすきを受けた6区のアノカ―岩城さんが首位との6秒差を逆転しました。

優勝した函南中陸上競技部は、12月17日に滋賀県で行われる全国大会に出場します。

函南中陸上競技部
県駅伝大会
男子の部で初優勝!!
全国大会へ挑む!

団体・活動紹介

函南町文化協会

歌謡仲間

佐藤 泰博

平成27年度の生涯学習塾「歌謡教室」から2年間、横井先生の指導のもと、活動してきました。

平成29年4月から新しい活動に一步前進しようとして「歌謡仲間」を設立しました。部員は8人ですが、陶芸、絵手紙、ヨガ、フラダンス、民謡、オカリナ、ギター、太極拳などの経験者や修行中の多彩な仲間、経験を生かし活動を始めました。

歌は気持ちが前向きになり、ストレス発散もでき、良い面ばかりで悪いことはないと思います。

課題曲は、1か月に1曲を部員で決めて練習し、1か月後に披露します。また、通常練習とは別に毎週1回、好きな歌や懐メロなどを、カラオ

ケで10曲位ずつ練習を兼ねて歌います。

今後は、各発表会への参加や、福祉活動などを予定していますが、まだまだ活動の方向性が定まっていけない仲間です。紆余曲折しながら一步ずつ進めていきますので、末永く見守ってください。

今年の文化祭のテーマ「チャレンジ！生きる喜びいつまでも」を目指して何事も楽しんでいきます。

文化協会に参加してみても、種々のジャンルで、会員や先生の熱心な活動を知り驚きました。

最後に、「歌謡仲間」で、一緒に楽しみたい、ストレスを発散したい方は、いつでもご連絡ください

問合せ先／佐藤泰博（978-9278）

文芸散歩

餅つき風景

廣中教純

年末の風物詩であった餅つきも、最近では少なくなった。餅はいつでも買える時代だが、昔は正月や節句などを祝う食べ物。どこの家でも年末には餅をついた。餅つきは、新年を迎える準備、心躍る行事であった。たまにどこかで餅つきの音を聞くと正月を指折り数えた子どもの頃に心は帰る。

昔、我が家の餅つきは年末の日曜日、家族総出ではじまった。赤々と燃えるかまどに薪をくべるのは子どもの仕事。白い湯気がセイロから立ち上がる様子で母は蒸し具合を確認した。白に移された蒸米をつくのは父、そして手返しは母だった。ペタンコ、ペタンコが子ども心をわくわくさせた。つきあがった餅はのし箱で手早くのし餅になっていく。これも母の仕事。餅つきの楽しみは、つきたてのきなこ餅や大福餅、その味が懐かしい。

師走の寒さに負けない私たち子どもの弾んだ声、うれしそうな顔、元気に飛び回る姿。餅つきを仕切る母の明るい笑顔が心に浮かぶ。

函南町に住んで13年、村内の家では、今も年末の餅つきがあり、お供え餅も作ると聞き、ほっとした思いを感じている。

（函南文芸の会）